

鳥取市議会予算審査特別委員会本庁舎跡地等活用分科会 会議録

会議年月日	令和3年3月18日（木曜日）		
開会	午前10時26分	閉会	午前10時59分
場所	市役所7階 第1委員会室		
出席委員	分科会長 岡田信俊 副分科会長 勝田鮮二 分科員 加嶋辰史 米村京子 朝野和隆 吉野恭介 岩永安子 平野真理子 上杉栄一		
欠席委員	なし		
委員外議員	荻野 正己 太田 縁		
事務局職員	事務局次長 富田 恵子 議事係主事 田中 真一		
出席説明員	<p style="text-align: center;">【総務部】</p> 総務部長 浅井俊彦 財産経営課長 一村泰志 財産経営課課長補佐 中村和範 <p style="text-align: center;">【企画推進部】</p> 企画推進部長 高橋義幸 経営統轄監 河井登志夫 次長兼政策企画課長 渡邊大輔 政策企画課課長補佐 平田政志		
傍聴者	3人		
会議に付した事件	別添資料のとおり		

予算審査特別委員会本庁舎跡地等活用分科会に切替え 午前10時26分 開会

- ◆岡田信俊分科会長 それでは、終わります。以上で本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会を閉会し、予算審査特別委員会本庁舎跡地等活用分科会を開催いたします。

議案第4号令和3年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（質疑）

- ◆岡田信俊分科会長 それでは、議案第4号令和3年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する部分については、前回の委員会で執行部より御説明いただいております。
これより質疑を行います。質疑のある方は、順次挙手の上、御発言ください。米村委員。
- ◆米村京子分科員 すみません、先ほどちょっと先走りまして失礼いたしました。実際問題、4億3,194万8,000円の予算が上がっているんですけども、それで、報告の中で、解体業者の入札、仮契約でしょうか、決まったみたいなんですけども、4億4,130万、それで、5つ、藤原組なんかで1億5,750万っていうところで決まっているわけなんですけども、先ほど岩永委員が言われたように、最終的な明細を本当にちょっと次の会合のときに御提示していただければ助かりますけど、それはオーケーでしょうか。
- ◆岡田信俊分科会長 一村課長。

○一村泰志財産経営課長 一応、資料としては御用意させていただくと先ほどお答えしたことで
すので。

◆米村京子分科員 資料としてね。その確認なんですけども。

◆岡田信俊分科会長 挙手の上。米村委員。

◆米村京子分科員 仮契約してるっていうことでよろしいですね。もう、すみませんね、先走り
まして。

（「手を挙げてから、指名されてから発言せないけん」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊分科会長 米村委員。

◆米村京子分科員 じゃあ、仮契約、もうされているというところでしょうか。

◆岡田信俊分科会長 一村課長。

○一村泰志財産経営課長 先ほど申し上げましたが、仮契約はまだでございます。

◆米村京子分科員 まだですか。それは、仮契約というのは……。

◆岡田信俊分科会長 待ってください。

◆米村京子分科員 ああ、ごめんなさい、ごめんなさい。

◆岡田信俊分科会長 米村委員。

◆米村京子分科員 仮契約というのはいつ頃されるんですか。

◆岡田信俊分科会長 一村課長。

○一村泰志財産経営課長 今月中に行う予定にしております。

◆岡田信俊分科会長 米村委員。

◆米村京子分科員 じゃあ、今月中ということで、今月中に仮契約をするということで。

◆岡田信俊分科会長 一村課長。

○一村泰志財産経営課長 財産経営課、一村です。3月25日に行う予定にしております。

◆岡田信俊分科会長 米村委員。

◆米村京子分科員 すごい目の前で、ちょっときゅうきゅうな感じでびっくりしてるんですが、
3月25日に仮契約をするということですね。分かりました。ありがとうございました。

◆岡田信俊分科会長 そのほかございますでしょうか。一村課長。

○一村泰志財産経営課長 一応、3月25日までになっておりますので、それより早くなる可能性
もあるかもしれませんが、一応、目安としては3月25日というふうに考えております。

◆岡田信俊分科会長 ありがとうございました。岩永委員。

◆岩永安子委分科員 すみません、総括質疑でもあったり、それから自分も12月の委員会をめぐ
ってみたりして記憶を取り戻しているところなんですけど、確認です。新年度予算で4億2,140万に
入るのは、地上部分の解体工事、それから、解体工事の監理業務、地盤変動影響業務、それか
ら、重機を置いて工事するための民地の借り上げ料ということで理解させてもらっているのか
ということなんですけど、12月議会で、工事期間は令和4年6月までかかると。その後、工損調
査もあるということだったと思うんですけど、この金額は、解体工事、令和4年度分も入った
予算、つまり、全部解体に係る予算、令和4年度分は別で、令和3年度分だけだというふうに
理解したらいいのか。すみません、基本的なところ、お願いします。

◆岡田信俊分科会長 一村課長。

○一村泰志財産経営課長 財産経営課、一村でございます。これは前回の委員会で説明させていただきましたが、債務負担を取っておりますので、令和3年度と4年度に分けて予算を立てて、それぞれで執行していくという形になります。令和3年度におきましては、先ほど岩永委員さんが言われました費用を全部積み上げますと4億3,194万8,000円になりますので、これが令和3年度で執行をする予定の金額でございます。先ほども説明させていただきましたが、入札であいさが出た部分については、また改めてこれは調整させていただく形にはなろうかと思いますが、その部分で説明させていただきましたとおりですし、令和4年度におきましては、残りの額、解体費用が6億9,795万円と12月の委員会のほうで説明させていただきましたが、その残りの残額についても予算を措置しまして4年度で執行するという予定にしております。以上です。

◆岡田信俊分科会長 岩永委員。

◆岩永安子分科員 ありがとうございます。地下の部分は別だということと、それから、さっき本庁舎と第二庁舎と工事契約別の名前も出ていたんでしょと思いますが、どういう段取りで、つまり、具体的な令和3年度分のスケジュールについて教えてください。

◆岡田信俊分科会長 一村課長。

○一村泰志財産経営課長 スケジュールにつきましては、これまで御説明した、言ったとおり、大きな変更はございません。一応、工事自体は、先ほども言いましたけど6月議会で本契約の議決をいただきましてから契約をさせていただきまして、7月から一応予定としては工事にかかっていく予定にしております。期間としては1年間、だから令和4年度にも若干かかるという形になります。以上です。

◆岡田信俊分科会長 岩永委員。

◆岩永安子分科員 もう少し詳しいスケジュールってお話しいただけんでしょうか。例えば、第二庁舎、旧本庁舎、どういうふうに工事にかかっていくのかみたいなことは、まだこれからでしょうか。

◆岡田信俊分科会長 一村課長。

○一村泰志財産経営課長 その部分については、これからちょっと業者のほうと協議をしながら決めていくという形になろうかと思えます。

◆岩永安子分科員 分かりました。

◆岡田信俊分科会長 そのほかございますでしょうか。吉野委員。

◆吉野恭介分科員 質問というか、意見になるかもしれませんが、今までずっと検討スケジュールを立ててこられたそのもので、いろいろワークショップや、今回、アンケートの報告もありました。そのもので粛々と予定どおり進めていただくようお願いしたいと思えますし、あと、公共施設ということですので、更新問題ということを見ると、延べ床面積のなかなか減っていない現状もあると思えますので、そこら辺のことも加味してもらって、予定どおり進められるよう要望します。以上です。

◆岡田信俊分科会長 岩永委員。

◆岩永安子分科員 すみません、さっき、工事のことだけ聞いたんですが、ワークショップ、それからアンケート、有識者会議、ワークショップが5会場になっていて、アンケート1回、有識者会議4回ということが書いてあります。これはちょっと以前いただいた計画とはちょっと違うんじゃないかと思うんですが、今年取り組まれたことを新年度どういうふうに生かしていくというふうに考えておられるのか、スケジュールとの違いと併せて教えてください。

◆岡田信俊分科会長 渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼政策企画課長 政策企画課、渡邊でございます。岩永委員の御質問にお答えさせていただきます。ももとは、当初、ワークショップは4回、それから、アンケートは1回、有識者会議、これは専門家委員会という形で名前を変えさせていただいておりますが、4回という予定でございました。ただ、昨年度、事業実施するに当たりまして、鳥取地域、もう少ししっかりと聞いたほうがいいのではないかとということで、ワークショップを5回ということで検討させていただきながら事業実施をさせていただいたところでございます。ただ、予算の作成上の流れで大変申し訳ないんですが、この予算を作成したときには、そういった形で今年も5回というようなことで検討はさせていただいておりましたけれども、去年のワークショップ、申込みとかそういったものの人数を考えたところ、今年も同じく5回というやり方がいいのかどうかということ、今現在ちょっと調整をさせていただいております、ワークショップの回数なりそういったものも、若干今後検討させていただきながら変更ということも考えておるところでございます。ただ、やはり去年の場合、周辺地域、例えば東部地域でありますとか南部地域でありますとか西部地域のやはり申込みが少なかったということもございまして、例えば地域振興会議、そういったものの中で御説明をさせていただきながら御意見を伺うだとか、そういったこともできるのではないかとというようなことも含めまして、今検討をさせていただいております。有識者会議、それからアンケートにつきましては、予定どおり、スケジュールどおり考えておるところでございますので、回数というのは変更なくやらせていただければなというところで現状考えておるところでございます。以上でございます。

◆岡田信俊分科会長 岩永委員。

◆岩永安子分科員 今年のお取組は、コロナもあったでしょうし、それから、逆にアンケートの地域の比率どおりという回答状況だとはおっしゃったですけども、全市民に、全市、全地域の皆さんに考えていただく、全市民の財産だと市長が言われるところを大事にすると、住民の数からいったら、アンケート、比率はこうかもしれんですけど、やっぱりそういう機会をしっかりと設定するというか、皆さんに考えていただく機会を設定するというのは、逆に大事なことじゃないかなというふうに思います。まだ検討中ということですので、全部のいろんなところの皆さんの声を聞くというのがこの2年間の大事な取組だったと思いますので、そういう位置づけでいろいろ広報したり、それから、意見を聞く場を設けたりっていうのはなかなか面倒なことだとは思いますが、それがこの2年間の取組ですので、しっかり取り組んでいただきたいというふうに思いますし、それから、今年のなかなかコロナで大変だった中、取り組んでいかれたことは非常に生かしていただいて、03年度も声を聞くということで取り組んでいただきたいというふうに思います。

◆岡田信俊分科会長 そのほかございますでしょうか。上杉委員。

◆上杉栄一分科員 スケジュールについては、以前にいただいたスケジュールで大体スケジュールどおりに行ってるのかなあというふうに思っておりますし、それから、解体撤去費についても、昨年の12月議会では約7億ぐらいの、それぐらいかかるんだということだったんだけど、今回入札をして4億9,000万円ということで、かなり安くということで、これについては市としても大変ありがたいことだというふうに思っております。

それで、私、これは総務企画委員会の資料をちょっともらったんだけど、いわゆる市民会館等の文化施設の在り方検討についての、これはうちにはもらってません。これは総務企画の委員会で配られたものですけども、この中で、市民会館を含めた文化施設についての今後の方向性について、在り方といいますか、それについては中期的な取組として必要となる条件整備を着実に進めていくことが重要であるというようにくくってあるわけでありましてけれども、今後は外部委員を含む検討組織を設置しというようなこともここに書いてあるんだけど、来年度中に機能のある程度絞り込んだ中で具体的な活用策を見いだしていくという話になった場合に、市民会館の在り方も非常に重要なそれこそポイントになるわけで、早期に方向性が出せればという話もあるけれども、この市民会館等々も踏まえた形で、中期的な方向性っていうんかね、そういった形のものを出す必要があるのかなというふうに思います。

例えば、当面の話で、当面はこれだというような話もあるかもしれないけれども、この令和3年度も結局令和2年度と同じ手法で、ワークショップであったりアンケートであったりという形にあるんで、これは本当にそれがベターなのかということは、一遍ちょっと中で検討していただきたいというふうに思っております。ですから、まだほかに手法がないのか、取り入れる、市民の声を聞くにしてもそういったことがないのかということと、それから、あわせて、今の解体撤去についてはもう粛々と進めていただきたいというふうに思っておりますし、それから、新たなこの1年をかけてしっかりと我々も議論しますし、専門家会議の中、あるいは市民のいろんな意見を聞く中で方向性を出していくと。それから、私は来年度中に具体的なものが出ればそれが一番いいかなと思っていたんだけど、どうもここから出てくるアンケート等々を見ていくと、例えば、それが終わって2年や3年で新しい建物というような方向にはどうもならぬような感じがするんで、しっかりまた今度具体的な活用策が出たら、また今度は令和4年度になるんだけど、4年度、5年度にかけてこれは議論していかないけんから、しっかり着実にこの事業を推進していただきたいということだけ申し上げておきます。以上です。

◆岡田信俊分科会長 一村課長。

○一村泰志財産経営課長 財産経営課、一村です。ちょっと先ほどの上杉委員さんの御質問というか、御要望の補足をさせていただきたいんですが、価格が5億以下だという形でおっしゃられたんですけど、これ、消費税抜きの価格でして、消費税を合わせましたら若干膨らみまして、旧本庁、二庁合わせたら約5億4,200万ぐらいになってしまいますので、その旨は御理解いただきたいと思います。以上です。

◆岡田信俊分科会長 上杉委員。

◆上杉栄一分科員 以前聞いた、説明があったのは消費税を含んだ金額、12月補正で解体事業概

要、これは消費税を含んだ金額ということですか。

◆岡田信俊分科会長 一村課長。

○一村泰志財産経営課長 税込み価格でございます。入札は税抜きで行いますので、その辺で税抜きという形で進めさせていただいた次第でございます。

◆岡田信俊分科会長 そのほかございますでしょうか。平野委員。

◆平野真理子分科員 そんな大したことはないんですけど、ちょっと私も、今の上杉委員言われたように、いよいよ3年度はそういった一定の方向性を決めていくという大事な年でもありますし、周りの在り方検討委員会の話とかも出ましたので、確かに2年度と同じようなことをしていても、内容的にはまた一步前進していくような方向性になると思いますので、しっかり取り組んでいただきたいと思います。また、市民への情報提供もお願いしたいと思います。

それから、令和元年度に解体っていうことを特別委員会で決定して、いよいよ3年度、その解体の形がスタートしていくということです。しっかり予算づけもしながらも、とにかく安全で無事故で進めていただきたいと思いますというふうに思います。以上です。

◆岡田信俊分科会長 意見ですか。

◆平野真理子分科員 意見です。

◆岡田信俊分科会長 では、勝田副委員長。

◆勝田鮮二副分科会長 私、ちょっと先ほど米村委員からも少し出たんですけど、解体に当たっての地下の埋設だとか基礎くいを残すということに対して、以前、西地域のほうで公共の土地で基礎くいを残して平地にしたときに、進出企業が基礎くいを取るのにもう結構費用がかかるということで断念したという経過があります。今回、なぜこの解体のときに基礎くいを残すのか。本来であれば解体と同時に撤去をするべきだと思うんですけども、その辺の考え方や背景を再度確認したいんですが。

◆岡田信俊分科会長 一村課長。

○一村泰志財産経営課長 財産経営課、一村です。その辺の考え方については実際に工事を設計する建築住宅課のほうとも協議しながら進めてはきておるんですが、基礎くいを取ることで、逆に地盤が緩くなったりですとか影響を及ぼす可能性が考えられるという形だったので、その辺りについては業者とも協議しながらといいますか、話し合っただけでいながら、今後、どういった形で跡地が活用されるかも加味、検討しながら決めていくというふうに考えておるところでございます。以上です。

◆岡田信俊分科会長 勝田副委員長。

◆勝田鮮二副分科会長 そうしますと、今回示されている費用、それから令和4年度に示される予算の中にはそういった撤去の費用は入っていないと、基礎くいとか地下の埋設。ちょっとそこだけ確認します。

◆岡田信俊分科会長 一村課長。

○一村泰志財産経営課長 基礎くいの部分については入っておりません。以上です。

◆岡田信俊分科会長 勝田委員、よろしいですか。岩永委員。

◆岩永安子分科員 私も数字に弱いので、総括質疑で、地階部分の撤去工事費は含まれていませ

んと。地上部分の活用が決まった際に、その工事と一緒に発注を行うという答弁だったと思うんですが、もともと6億9,000万の解体工事費の中には地階部分はありません。この令和3年度予算の4億3,000の中にも入っておりません。だけど、地階部分の撤去工事は、その後必要な使い道が決まったときにどうするかはそのときに考えるという理解でよろしいでしょうか。違う。

◆岡田信俊分科会長 一村課長。

○一村泰志財産経営課長 財産経営課、一村です。地階部分については基本的には撤去する形になります。時期としては、何か新しく活用方針が決まりまして、そこの部分で整備をする段階において一緒に撤去する形にしております。先ほど上杉委員さんからの御質問があったんですが、基本的には撤去する形にはなるんですが、撤去することによって何らかの悪影響を及ぼす場合があったりとか、地盤が変動してちょっと影響があるような場合については、地階部分は残してもそこはやむを得ないというような見解はいただいていますので、状況を見ながらそこは検討していく形になろうかと思えます。以上です。

◆岡田信俊分科会長 上杉委員。

◆上杉栄一分科員 今の関連なんだけども、いずれにしても撤去はしなければならないと。今、撤去した場合にあの辺りの地盤がどうのこうのという話があったんだけど、計画が決まって、例えばあそこに建物、何か、ここで言うと防災機能がとかなんとかというのは結構あるわけで、そういったものが、仮にそういった建物を建てようという場合には、言ってみれば建築、撤去もだろうけど、工事費用からすれば国から有利な起債が多分受けられると思うんですね。だから、そうなってくると、その有利な起債を使えば撤去費用もその中に入るわけなんで、だと思いうんで、工事費の中に、となれば、単独で撤去するよりはもっと安く結果としては撤去できるというふうに私は思うんだけど、違いますか。

◆岡田信俊分科会長 一村課長。

○一村泰志財産経営課長 財産経営課、一村です。上杉委員さんのおっしゃられるとおり、それは前回の委員会の説明させていただいた内容でございますので、そのとおりでございます。

◆岡田信俊分科会長 上杉委員。

◆上杉栄一分科員 ということになれば、何もあそこは、それこそ建物は建てんということが結果として決まれば、それは撤去費用を上げて撤去せなあかんし、まだ白紙の状況だから、そこに何らかの公共施設ということになれば、今急いで撤去費用をかけて、いわゆる起債を発行してする必要はないわけで、だから、それはやっぱり方向性を見て撤去すれば私はいいと思えます。いずれにしても撤去は撤去です。ただ、それが要するに自前で撤去せないけんのか、あるいはある程度国のほうから戻ってくるのか、その辺の考え方だと私は思います。

◆岡田信俊分科会長 そのほかございますでしょうか。加嶋委員。

◆加嶋辰史分科員 加嶋です。関連してお尋ねをします。今、くいの話が出ていますけれども、令和元年度から工法検討、債務負担で令和2年度にかけて実施設計をしてきたわけですけども、その設計の中で、くいを抜く額については算定がされておるものかどうかお尋ねします。

◆岡田信俊分科会長 一村課長。

○一村泰志財産経営課長 積算はしておりません。

◆岡田信俊分科会長 加嶋委員。

◆加嶋辰史分科員 積算していないということで理解しましたので、以上です。

◆岡田信俊分科会長 そのほかございますでしょうか。よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊分科会長 それでは、なしと認め、以上で質疑を終結いたします。執行部の皆さんは退席していただいて構いません。ありがとうございました。委員の皆さんは当然お残りください。

（傍聴席で発言する者あり）

◆岡田信俊分科会長 すみません、まだ委員会終わっておりませんので。

皆様からの質疑、意見、また執行部の答弁の中で分科会長報告に盛り込むべき点について、御意見がございましたら順次発言をお願いいたします。加嶋委員。

◆加嶋辰史分科員 加嶋です。平野委員からも御意見のありました安心、安全にという言葉もありましたし、スピード感を持ってという意見もあったと思いますので、そういった意見を入れてはどうかと思います。

◆岡田信俊分科会長 ありがとうございます。そのほか。上杉委員。

◆上杉栄一委員 事務局でちょっと意見出たやつ、ちょっと発言してもらえるか。

◆岡田信俊分科会長 お願いします。

○田中真一市議会事務局主事 まず、解体事業費については、平野委員さんからスケジュールどおりしっかりと進めていただきたいということと、安全、安心に、無事故で解体事業を進めていただきたいというようなお話がございました。この件について、上杉委員さんからも、解体、撤去についてはしっかりとスケジュールに沿って進めていただきたいという御意見もございました。

あと、跡地活用の検討に当たっての御意見では、まず、吉野委員さんから、公共施設の更新についてのことも頭に入れながら進めていただきたいということもございましたし、岩永委員さん、上杉委員さん、平野委員さんから、全市民の財産、また市民の声をしっかりと聞くということを踏まえながら、活用策の検討について、市民が考える機会の確保でありますとか市民への広報、また市民の意見を取り入れる手法について、しっかりと検討しながら取り組んでいただきたいという御意見がございました。上杉委員さんからは、市民会館等の文化施設の在り方を踏まえ、中長期的な方向性についても考えていく必要があるというような御意見もございました。すみません、以上です。

◆岡田信俊分科会長 ありがとうございます。上杉委員。

◆上杉栄一委員 大体、それこそ、委員さんの方向性というか、安全、安心、それから市民の声しっかりと聞いていくという、その辺りをちょっとまとめてもらったらいんじゃないかなとは思いますが、どうでしょう。

◆岡田信俊分科会長 皆様、どうでしょうか。よろしいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊分科会長 異議なしをいただきました。

文書化につきましては正副分科会長一任ということでよろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊分科会長 今聞いておりますのは分科会長報告での報告ということでありまして、予算審査特別委員会の委員長報告にも同じことでよろしいですね。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊分科会長 それでは、そのようにさせていただくように決定いたしました。

分科会長報告の文書ができましたらファクス等々で皆様にお知らせしますので、御確認をお願いいたします。

そのほか、よろしいですか。いいですね。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆岡田信俊分科会長 以上で予算審査特別委員会本庁舎跡地等活用分科会を終了いたします。どうもありがとうございました。

午前10時59分 閉会

令和3年2月鳥取市議会定例会
本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会（第20回）・
予算審査特別委員会 本庁舎跡地等活用分科会

日 時：令和3年3月18日（木）10時～

場 所：7階第1委員会室

----- 本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会 -----

1. その他

旧本庁舎・第二庁舎跡地活用に関するアンケート調査の結果（速報値）について

----- 予算審査特別委員会 本庁舎跡地等活用分科会 -----

1. 議案（審査）

議案第4号 令和3年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】